

第2章 美濃加茂市の環境と市民の思い

美濃加茂市の市の概要及び環境に関する主な状況と市民満足度調査の結果をまとめました。社会経済情勢、人口推計については、第6次総合計画に掲載されています。また、環境測定の詳細については、「みのかもの環境（美濃加茂市環境白書）」をホームページ等で公開しています。

1 市勢

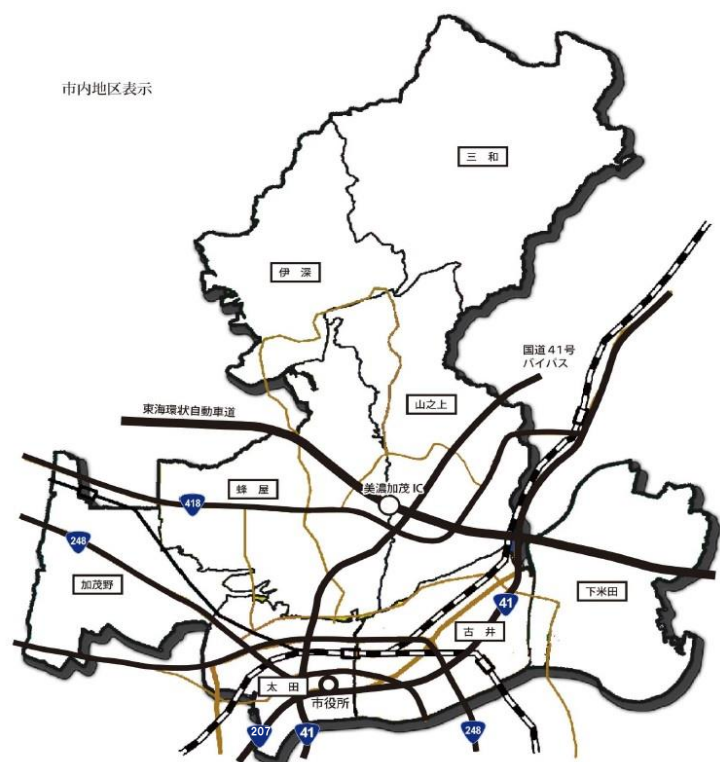
① 美濃加茂市の位置

最東端 東経 137° 05' 12" 北緯 35° 28' 03"（下米田町信友）
 最南端 東経 137° 00' 23" 北緯 35° 25' 48"（深田町2丁目）
 最西端 東経 136° 57' 32" 北緯 35° 26' 52"（加茂野町稲辺）
 最北端 東経 137° 02' 14" 北緯 35° 33' 14"（三和町廿屋）
 総面積 74.81 km²
 広ぼう 東西 11,634 km 南北 13,751 km
 海 抜 最高地 559.2m（御殿山山頂）
 最低地 59.1m（草笛町4丁目）

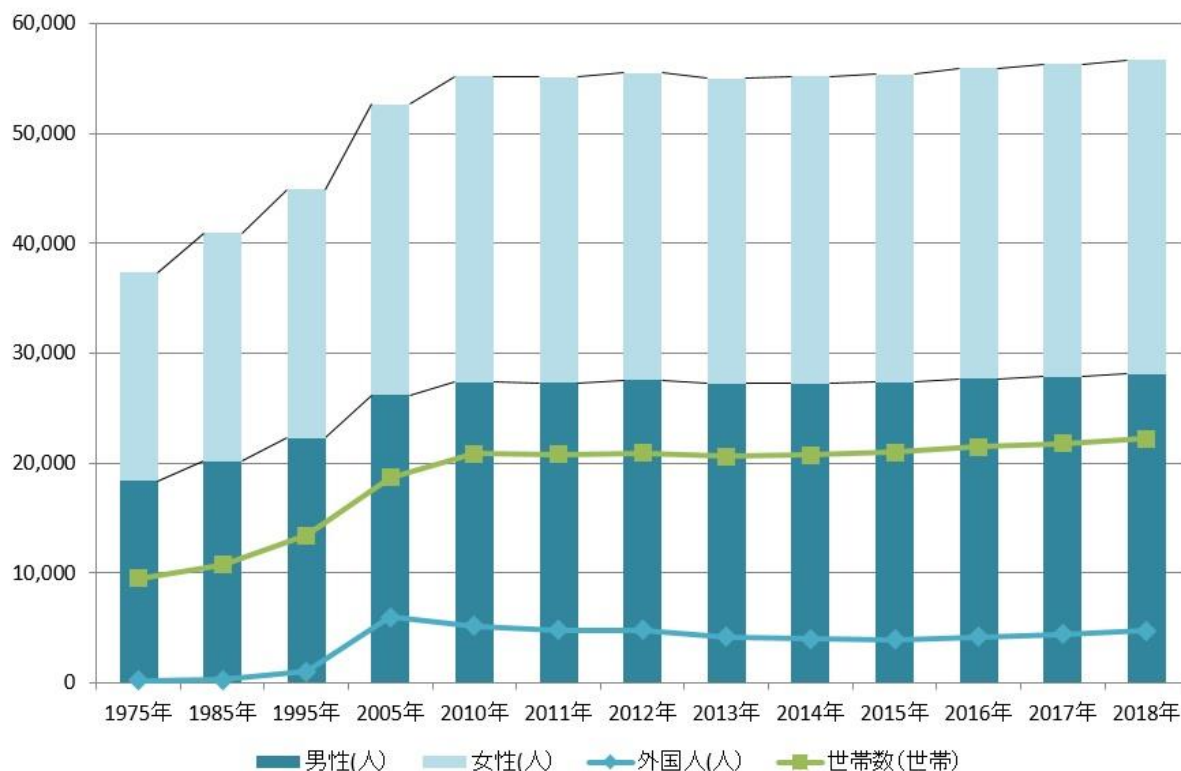


② 美濃加茂市内図

総面積 74.81 km²
 （内訳） 太田地区 4.97 km²
 古井地区 6.65 km²
 山之上地区 11.23 km²
 蜂屋地区 12.33 km²
 加茂野地区 7.20 km²
 伊深地区 7.99 km²
 三和地区 15.40 km²
 下米田地区 9.04 km²
 一級河川 木曽川 飛騨川 深渡川
 加茂川 蜂屋川 川浦川
 廿屋川 大洞川 太市川
 納古川
 代表的山岳 御殿山 平木山
 山之上富士（富士山） 高木山
 鬼飛山 白山



2 人口・世帯の推移

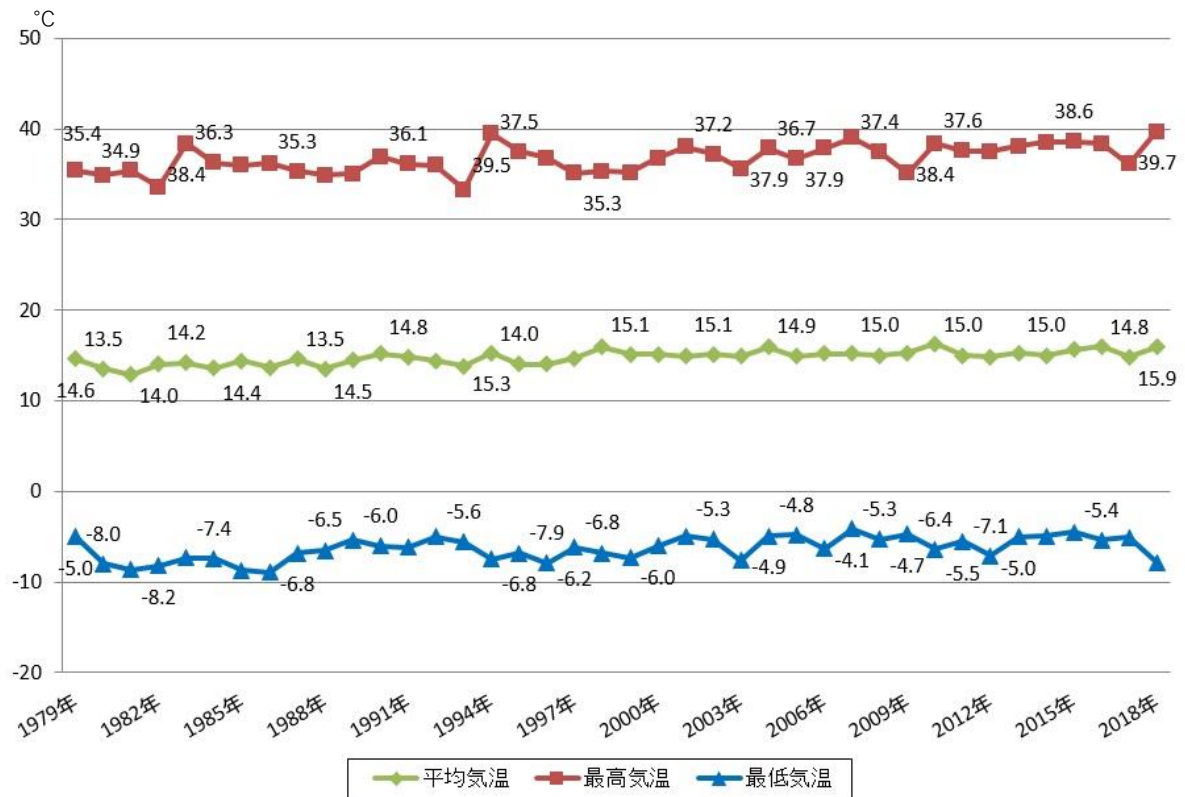


年度	男性(人)	女性(人)	外国人(人)	総人口(人)	世帯数(世帯)
1975年	18,403	18,922	239	37,325	9,534
1985年	20,185	20,734	269	40,919	10,750
1995年	22,267	22,615	1,056	44,882	13,438
2005年	26,172	26,504	5,976	52,676	18,697
2010年	27,340	27,879	5,193	55,219	20,849
2011年	27,331	27,831	4,836	55,162	20,773
2012年	27,543	27,962	4,789	55,505	20,950
2013年	27,234	27,784	4,215	55,018	20,595
2014年	27,238	27,947	4,006	55,185	20,737
2015年	27,379	28,012	3,948	55,391	20,983
2016年	27,700	28,251	4,177	55,951	21,475
2017年	27,875	28,418	4,438	56,293	21,809
2018年	28,140	28,525	4,730	56,665	22,208

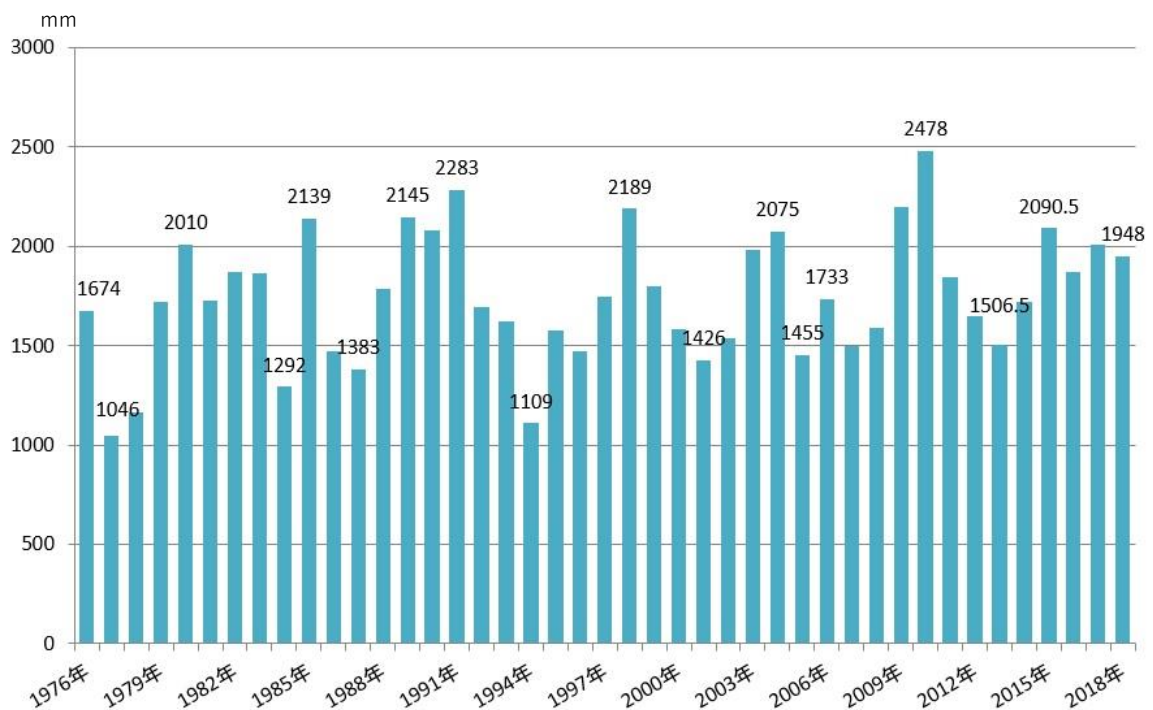
資料:市民課人口世帯数一覧表(各年4月1日現在)

3 気温・降水量の推移

① 平均気温・最高気温・最低気温の経年推移



② 年間降水量の経年推移



資料：岐阜气象台 HP

4 廃棄物の処理状況

① 美濃加茂市のごみの排出量

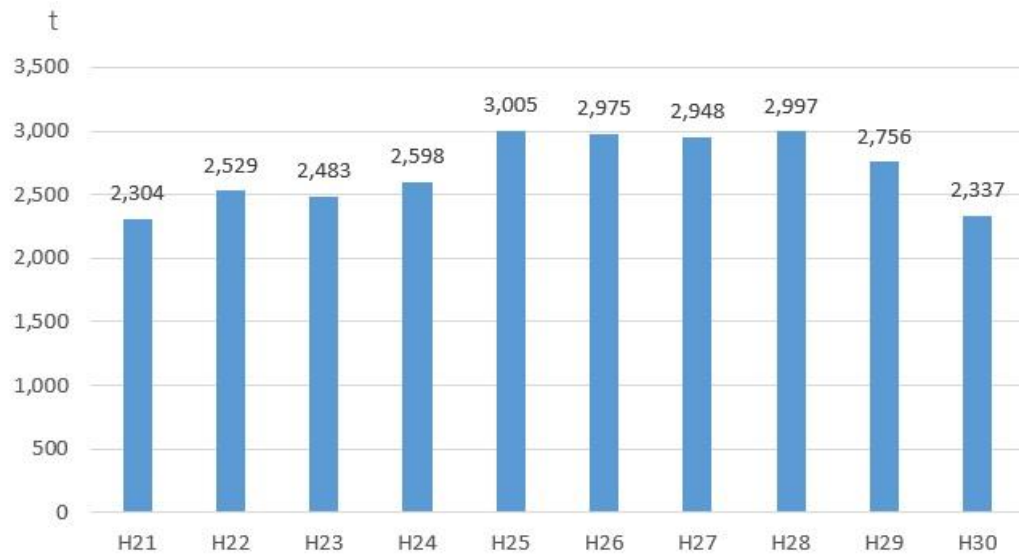


※ここでの生活系の1日1人あたりの数値に集団回収量は含まれていませんので、p21の成果指標の数値と異なります

② 一般会計に占めるごみ処理費の割合



5 資源回収量の推移



市民団体等及び事業者による資源回収量の合計（ただし事業者は回答のあった拠点のみ）

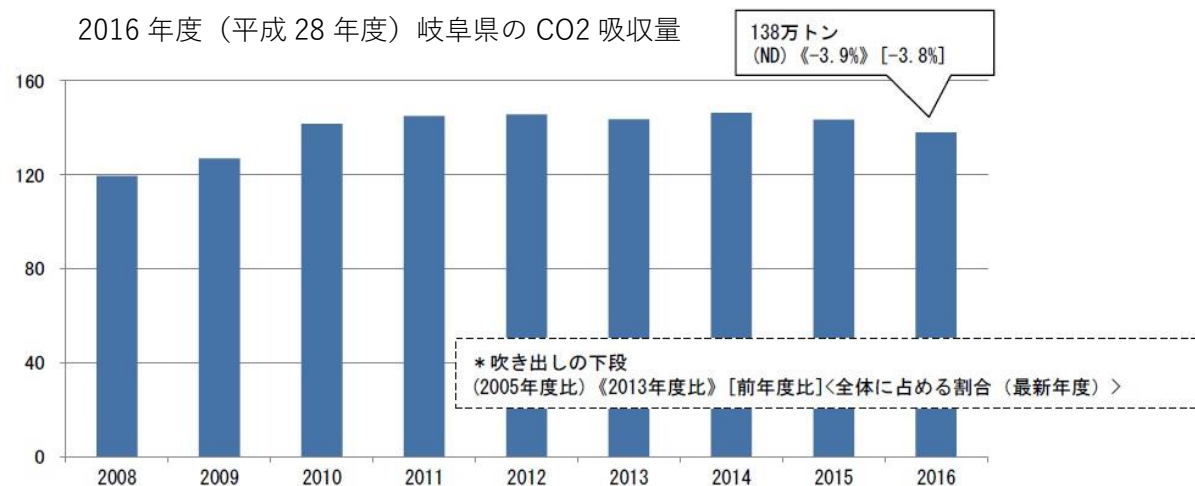
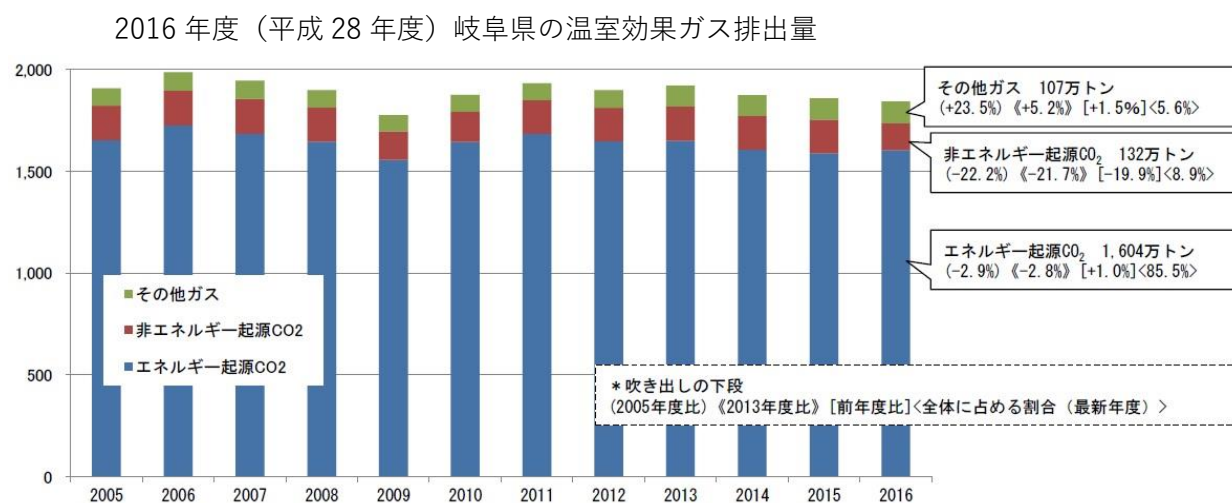
資源回収品目：新聞・雑誌・ダンボール・チラシ・牛乳パック・古着・アルミ缶・その他紙容器類

6 温室効果ガスの排出量

温室効果ガス排出量は、美濃加茂市では把握できていませんが、岐阜県が調査し県ホームページで公表していますので、引用し掲出します。

平成 30 年度公表の、岐阜県の 2016（平成 28）年度の温室効果ガス排出量は 1,843 万 t-CO₂ であり、岐阜県の削減目標の基準年度である 2005 年度と比較して 3.4%減少しています。

また、2016（平成 28）年度の森林の二酸化炭素吸収量は 138 万 t-CO₂ であり、これを反映すると、岐阜県の温室効果ガス排出量は、1,705 万 t-CO₂ となります。



資料：岐阜県 HP

7 生物の状況

① 天然記念物

県指定	川合のムクノキ、山之上のサクラ、メタセコイア珪化木
市指定	白山神社の大杉、正眼寺のしだれ桜、諏訪神社の大杉、三和のゲンジボタル、山之上のヒカゲツツジ群落

資料：守りたい加茂の豊かな自然

② 貴重な動植物種

美濃加茂市で見られる貴重な動植物種

分類群	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	情報不足
シダ植物		デンジソウ 1				
種子植物			イヌセンブリ イヌノフグリ ミズオオバコ ヤマユリ エビネ 5	カワラナデシコ ホタルカズラ キキョウ、カワラハハコ ヒルムシロ、キンラン セッコク、クモラン 8	サンショウソウ、ツメレンゲ、イヌハギ マキエハギ、ミズユキノシタ、カキラン ナンカイヒメイワカガミ、カラタチバナ スズサイコ、シソクサ、ホッスモ ナガエミクリ、マメツタラン、ギンラン 14	コショウノキ オナモミ オオアオスゲ サイハイラン 4
哺乳類					カヤネズミ、ムササビ 2	
鳥類				タマシギ 1	ヤマドリ、カイツブリ、バン、ハチクマ オオタカ、サシバ、オオコノハズク サンコウチュウ、セッカ 9	
爬虫類				ニホンイシガメ 1		ジムグリ 1
両生類				オオサンショウウオ アズマヒキガエル ナゴヤダルマガエル アカハライモリ モリアオガエル 5		
魚類			ニホンウナギ カワバタモロコ ミナミメダカ 3 アユ イチモンジタナゴ 5	ヤリタナゴ ネコギギ ホトケドジョウ アユ イチモンジタナゴ 5		
昆虫類			マイコアカネ ホシチャバネセセリ ウラナミジャノメ 3	タガメ、ミドリシジミ ウラギンズジヒョウモン 3 ミヤマチャバネセセリ、オオムラサキ フタモンクモバチ、クロマルハナバチ モンズメバチ、キイロヤマトンボ 12	トラフトンボ、ヒメタイコウチ アカマダラコガネ、シマゲンゴロウ トラフカミキリ、ギンイチモンジセセリ アオイトトンボ ヨツボシトンボ ネグロクサアブ ミヤマカラスシジミ 7	ネアカヨシヤンマ モートンイトトンボ オツネイトンボ アオイトトンボ ヨツボシトンボ ネグロクサアブ ミヤマカラスシジミ 7
十脚甲殻類					モクズガニ 1	
淡水貝類				マツカサガイ イシガイ ヌマガイ マシジミ 4		

資料：守りたい加茂の豊かな自然

③ 特定外来生物

美濃加茂市で見られる特定外来生物

分類群	種 名
種子植物	オオフサモ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウ、アレチウリ
哺乳類	ヌートリア、アライグマ、
鳥類	ソウシチョウ
両生類	ウシガエル
魚類	カダヤシ、オオクチバス、ブルーギル

資料：守りたい加茂の豊かな自然

8 市民の思い

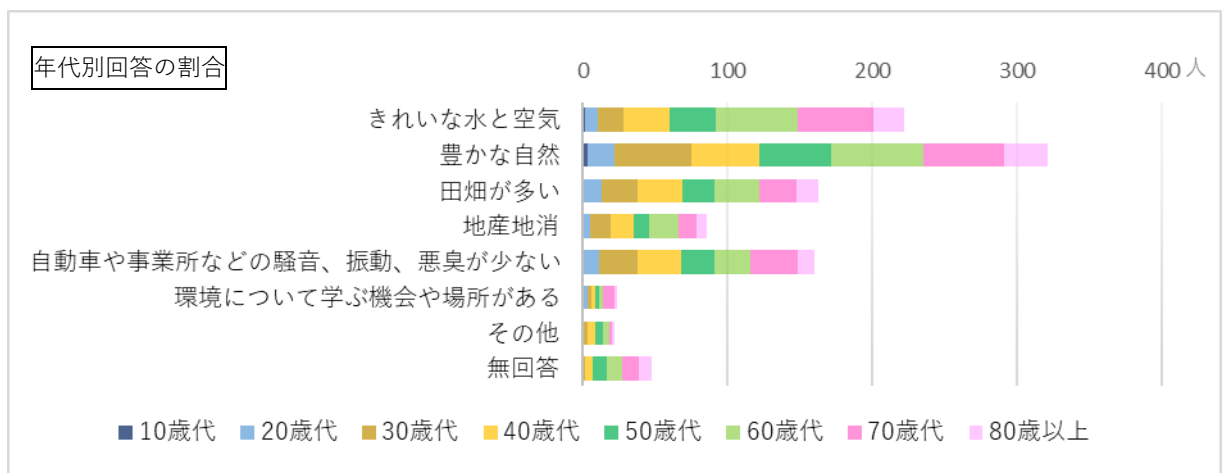
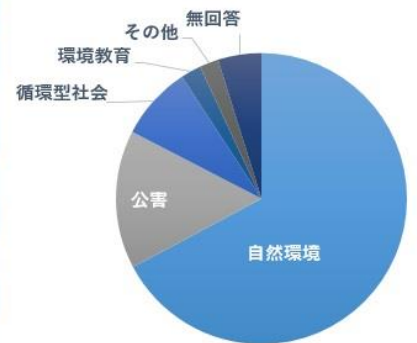
市が毎年実施する市民満足度調査に環境に関する項目を設定し、調査を行いました。

- ・調査対象 美濃加茂市在住の18歳以上を無作為に抽出
- ・調査期間 平成30年8月
- ・配布数 1500通
- ・回答率 有効回答数617通 有効回答率41.1%
- ・その他 1つの質問に対して複数の回答を選択可能としています

① 日常生活において、環境に関して満足度の高いものは何ですか

「豊かな自然」の割合が52.2%と最も高く、次いで「きれいな水と空気」の割合が36.8%となっており、自然環境に対する満足度が高いことがわかります。

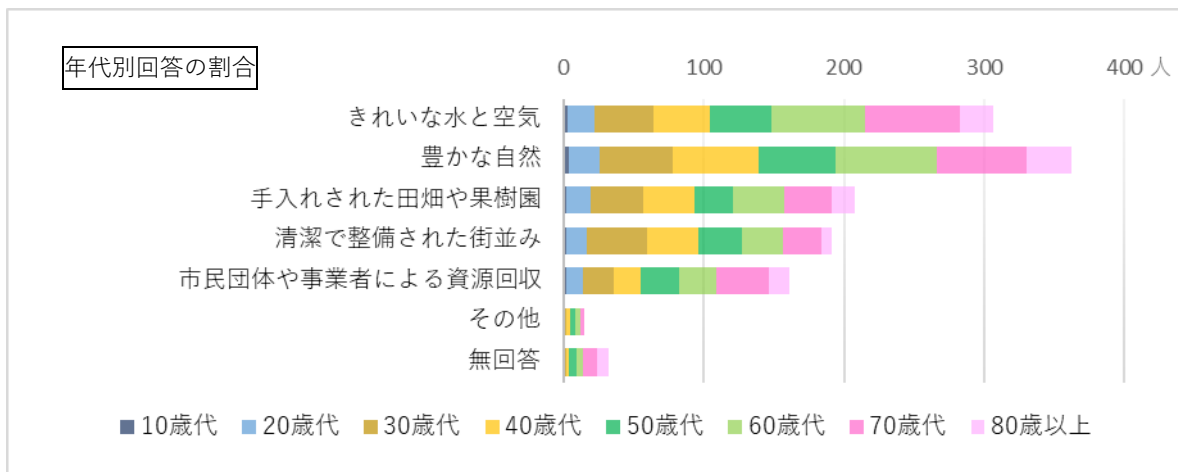
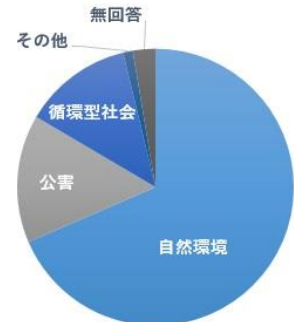
分野	回答	割合 (%)
自然環境	豊かな自然	52.2
	きれいな水と空気	36.8
	田畑が多い	26.4
公害	自動車や事業所などの騒音、振動、悪臭が少ない	26.4
循環型社会	地産地消	14.1
環境教育	環境について学ぶ機会や場所がある	3.9
	その他	3.6
	無回答	8.3



② 将来に残していきたい美濃加茂市の環境資源は何ですか

「豊かな自然」の割合が59.3%と最も高く、次いで「きれいな水と空気」「手入れされた田畑や果樹園」となっており、自然環境の分野の割合が高くなっています。

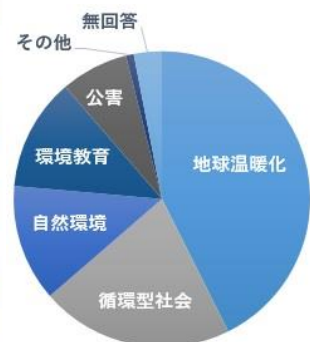
分野	回答	割合 (%)
自然環境	豊かな自然	59.3
	きれいな水と空気	50.2
	手入れされた田畑や果樹園	33.9
公害	清潔で整備された街並み	31.3
循環型社会	市民団体や事業者による資源回収	26.7
	その他	2.4
	無回答	5.5

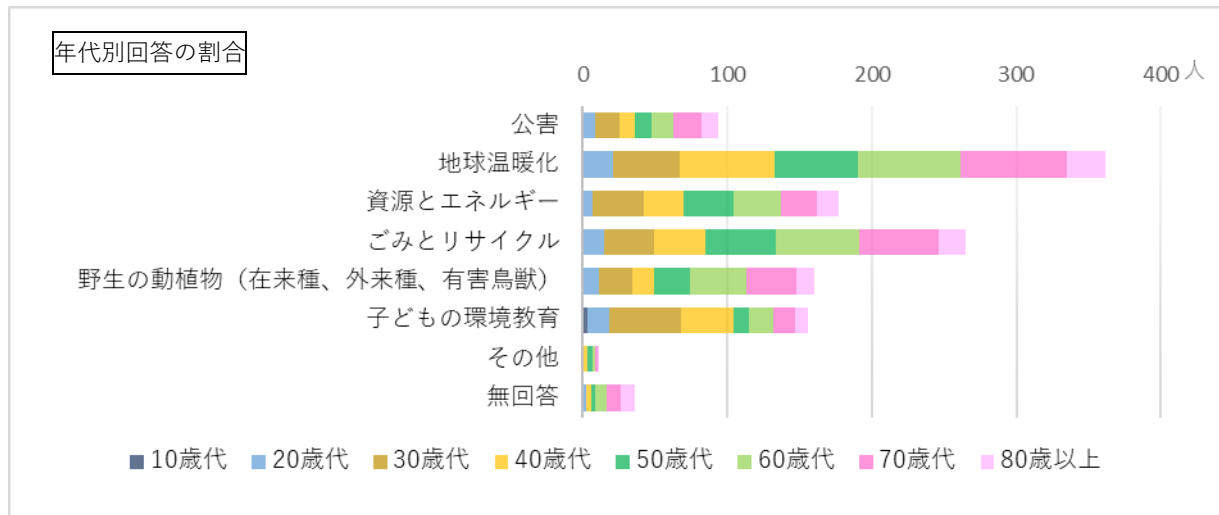


③ 関心のある環境問題は何ですか

「地球温暖化」の割合が59.0%と最も高く、次いで「ごみとリサイクル」の割合が43.4%、「資源とエネルギー」の割合が29.0%となっており、地球温暖化の分野について問題意識が高いことが分かります。

分野	回答	割合 (%)
地球温暖化	地球温暖化	59.0
	資源とエネルギー	29.0
循環型社会	ごみとリサイクル	43.4
自然環境	野生の動植物（在来種、外来種、有害鳥獣）	26.4
環境教育	子どもの環境教育	25.4
公害	公害	15.2
	その他	1.8
	無回答	6.3





④ 環境を良くするために、市民、事業者、行政が共同で取り組めることは何だと思いますか

「ごみ減量・リサイクルの推進」の割合が66.8%と最も高く、次いで「食品ロスの削減」の割合が39.9%となっており、循環型社会の形成に共同で取り組めると考えている人の割合が高いことが分かります。

分野	回答	割合 (%)
循環型社会	ごみ減量・リサイクルの推進	66.8
	食品ロスの削減	39.9
地球温暖化	省エネルギーの推進	27.1
	緑のカーテンの普及	18.5
環境教育	環境教育のリーダーやサポーターの育成	14.4
自然環境	自然観察学習会の開催	10.4
	その他	2.9
	無回答	7.6

